

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大腸癌同時性肝転移切除症例の手術成績に関する検討

[研究責任者] 国立病院機構長崎医療センター 外科 北里 周

[研究の背景]

肝転移を伴う大腸癌において、肝切除後の 5 年生存率は 35~58%であり、切除可能であれば積極的な肝切除によって長期予後の改善が期待されます。一方で、肝切除術は依然侵襲の高い治療であり、周術期合併症や術後在院期間の延長が問題となる場合があります。本研究では、大腸癌同時性肝転移（大腸癌が診断された時にすでに肝臓への転移がある状態）に対して肝切除を行った症例における手術成績を解析し、術後合併症や術後在院期間に影響を及ぼす因子、長期予後に影響を及ぼす因子を明らかにすることで、大腸癌同時性肝転移に対する肝切除の安全性を向上させるとともに予後を改善することを目的としています。

[研究の目的]

大腸癌同時性肝転移に対して肝切除を行った症例に関して、短期成績（術後合併症）および長期成績（予後）に影響を及ぼす因子を検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦 2011 年 1 月 1 日から西暦 2021 年 12 月 31 日の間に長崎医療センターで大腸癌同時性肝転移に対して肝切除術を受けた患者

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2023 年 12 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：

年齢、性別、身長、体重、血液検査所見、画像検査所見、手術日、手術所見、術後血液検査所見、術後合併症の有無・種類、生存の有無・期間、再発の有無・期間

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター

外科 北里 周

電話番号：0957-52-3121（代表）